



2023年4月16日(日)

## 守屋山 (1651m)

Report By Kumamoto.

守屋山（モリヤサン）は入笠山と諏訪湖の間に位置して、諏訪大社のご神体の山と云われている。この守屋山は田中澄江氏「花の百名山」にザゼンソウ、ミズバショウが咲く山として紹介されており、クマさん会では未踏の山で、今回はこの花咲く時期を狙って企画した。

当初予定した4月15日(土)は全国的に終日雨のため晴が見込まれた翌16日(日)に変更し、高橋雄さん、池戸さん、塩瀬さんと熊本の4名が参加した。中島さん、服部さん、布目さんの女性陣も参加予定であったが、皆さん16日は都合が悪く、不参加となった。残念！！

今日は果たして、ミズバショウ、ザゼンソウに出会えるのか？ 山頂から360度の展望が叶うのか？



計画コースは茅野駅からレンタカーで登山口の杖突峠駐車場に行き、そこから分杭平（湿地帯）で花を見て、急登・鎖場を登り、守屋山頂東峰（1631m）から西峰（最高点1651m）で折返し、登山口に戻り、日帰り温泉で汗を流す予定。



あずさ1号で熊本、塩瀬さんは新宿から、雄さんは立川から、池戸さんは八王子から乗り込み茅野駅に向かった。



塩山付近を過ぎると濃いガスが取れて青空が広がり、車窓に馴染みの山々が現れた。上図、左から雲海に浮かぶ富士山、鳳凰三山、甲斐駒が岳で八ヶ岳は雲を被っていた。



茅野駅に5分遅れで9:14に到着



駅レンタカーでフィットに乗り込む



池戸さんの運転、雄さんナビで杖突峠の駐車場に向かう。



約20分で杖突峠の駐車場に到着(9:45)  
10台弱の駐車場で十分余裕があり、早速登山準備



守屋山登山道入口の標識の前で写真を撮り9:51登山開始



登山道には頻りに「守屋山登山道」の標識（看板）があり親切で、昨日の雨の水溜まりもなく、また砂利などの石ころもなく非常に歩きやすい道だ。



適度な勾配で歩きやすい登山道を快調に登る。(10:00)



10:15 歩き始めて 25 分経過で赤井沢新道に入る

山裾を巻くようにドンドン下る。



10:26 木道が出てきて、湿地帯に出た様だ。やがて前方に小屋が見えてきた (10:28)



ここが分杭平でキャンプ場になっており、水場、トイレ等の設備がある。



広場の奥に登っていくと、沢沿いの淵の湿地帯に柵で囲まれた場所があり、ここの中にミズバショウが咲いていた。



ミズバショウは見頃であったが、ザゼンソウは皆で探しまくったが、残念ながら発見できなかった。こころ残りであったが、山頂の東峰に向かった。(10:38)



登山口に熊出没**注意!** とあるが、今日はここにクマさんが出没しているがなー!!  
ここから山頂まで登山道は狭くなり急登の連続になる



10:53 出発から約1時間経過した。林道に並走する広場に出て、ここで行動食を入れてエネルギー補給



急登、鎖場の連続だが歯を食いしばって登る。



11:25 前方が開けた、あのピークが山頂か？

ピークに立つとその先がまだあった

今度はピークに人がいる。今度こそ山頂に違いない！



11:27 守屋山東峰山頂に立った。360度の展望で、北、中央、南アルプス、奥秩父山塊、浅間山、そして眼前に八ヶ岳、霧ヶ峰、眼下に諏訪湖とその街並みが見渡せた。



北アルプス



中央アルプス



鳳凰山、北岳、甲斐駒が岳



金峰山と秩父山塊



蓼科山と北八ヶ岳



南八ヶ岳



黒斑山と噴煙上げている浅間山



眼下に諏訪湖と市街地



東峰山頂（1631m）で記念写真を撮って、昼食を撮る（11:35）。  
 昼食を取っていると、西峰方向に黒雲が掛かり始め、やがてポツポツと降りてきた。  
 ザーときたら大変と、西峰行を止めて戻ることにした。



慌てて、下山に入ったが、雨はもう降りてこなかった。（12:00）



鎖場を慎重に降りて分杭平に向かう。



白樺林が現れれば・・・



分杭平の小屋が見えてきた(12:32)  
計画より2時間も早く到着した。  
そこで、往路で発見できなかった座禅草の発見に  
エリアも広げて再挑戦することにした。



ザゼンソウを探していると他の花々が見つかった。そして・・・



執念で見つけたザゼンソウ(12:50)



朽ちかけたザゼンソウ



13:35 出発点の杖突峠駐車場に無事戻ってきた。



杖突峠の展望の良い「峠の茶屋」に立ち寄る。  
この茶屋の「チーズパン」が評判だそうだ！



14:30 日帰り温泉「望岳の湯」で汗を流す。  
アルコール抜きで茅野駅に向かう。



当初予定あずさ 50 号 (17:53)  
から臨時のあずさ 78 号に切り替  
え 16:20 発で 90 分早い特急に乗  
ることができた。



5号車には乗客はいなく、今日の山旅を無事  
終えたことで乾杯！  
お疲れ様でした。



帰りの車窓から、左から八ヶ岳、甲斐駒が岳、富士山

今日は天候にも恵まれ、山頂からの 360 度の展望を堪能し、目的のミズバショウ、  
ザゼンソウにも出会え、満足のいく初登頂の守屋山山旅でした。